

ROBA NEWS

トップニュース：全国で相次ぐ鉄道廃線 = 生かされない教訓

3月末、全国で鉄道や路面電車の廃線が相次いで行われます。石川県ののと鉄道能登線、岐阜県の名古屋鉄道岐阜市内線・揖斐線・美濃町線・田神線、茨城県の日立電鉄。いずれも沿線住民の存続運動が実を結ぶことなく廃止されます。いや、正しくは今も存続運動は続いています。何とか逆転できればと応援したいところです。福井では実際に電車が止まって、関係ないと思っていた人たちもその影響の大きさを思い知りました。そしてこの負の社会実験を経て多くの貴重なデータと教訓を得ました。えちぜん鉄道の誕生・鉄道再生はその結果でした。しかしこのデータも教訓も、それらの地域では生かされることはありませんでした。

岐阜では美濃町線の廃止により、並行する国道156号線の渋滞激化対策として道路整備が云々されています。また、廃止されるのと鉄道能登線の廃線跡には道路、バスターミナル、鉄道記念館、観光施設などの公共事業が目白押しです。メインとされる山岳区間のバイパス道路の計画はまだ示されていませんが、のと鉄道の廃線の代償として計画・構想されている公共事業が全て実施されれば総額百数十億円～数百億円になる筈、と聞きます。年間赤字1億円の鉄道を廃線する意味はどこにあったのか、国民として政治・制度（鉄道にはなく道路や箱物にはある補助制度や地方交付税制度）のありかたに疑問を感じざるを得ないところです。三位一体の行財政改革はまだ本質の議論をしていない　そう言われても仕方ありません。（文：清水）

活動報告

- 2月28日 アースデー準備会参加
- 3月5日 LRT部会
- 3月8日 3月運営会議
- 3月9日 MAP部会
- 3月11日 都市未来研究所取材
- 3月16日 まちづくり懇談会「まちなか駐輪場の適正配置と放置自転車について」
- 3月18日 鯖江コミュニティーバスフォーラム参加
- 3月21日 服部重敬さん 5月講演会打ち合わせ
- 3月24日 NPO法人認証・認証
- 3月24日 アースデー第1回実行委員会
- 3月25日 任意団体最終例会・法人認証祝賀会

今後の予定

- 3月26・27日頃 MAP部会
- 4月1日(金) 法人登記・
NPO法人ROBA発足
- 4月6日(水) LRT部会
- 4月16日(土) 福井市市民活動助成説明会
- 4月20日(水) まちづくり懇談会
「今後の議題について」
- 4月22日(金) 4月例会・法人化第1回理事会
- 4月24日(日) 4月イベント開催予定
- 4月随時 中部地区路面電車サミット部会
- 4月随時 アースデー実行委員会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「ファスト風土化する日本」 郊外化とその病理
三浦展 洋泉社 760円+税

2004.9.20発行 ISBN 4-89691-847-9

私の働く都市再生機構のニュータウン開発も含めた郊外開発が文化を破壊し、人の出会う狭小な空間や、電車の使える町が見直されている。(ニューアーバニズム) 全体の主張はここに行き着くのがこの本です。あまり数字を使っていない本であるが、理論的説得力があり、電車のあるまちを推進する理論をサポートする武器になる本です。

ただ、読み物として読む人には、前半の少年犯罪の記述が少しくどいし、地図が添付されていないのでわかりにくい。この本に書いてあることはもっともだが、都市機構のニュータウンがチェルシーのアウトレットモールやイオンに土地を貸すことをやめたら、その穴埋めは税金でしなくてはいけなくなる。日ごろの私の悩みの構造をうまく言葉に表してくれた本だと思います。

LR T部会会議録

日時：平成17年3月5日 19:00～20:15

場所：福井市種池1905-3 内田邸事務所

参加者：内田、清水 記録：内田、清水

議題：冊子作成における役割分担

冊子の内容は決定しているわけではないが、その見込まれる内容の一部について、準備作業に取り掛かる。
高橋さんから叩き台が届いている。
清水がメッセ開催時のLR Tについての掲示物とその後まとめたLR Tについてのペーパーを持参。
冊子の内容の一部として画像、路線図、Q & Aが見込まれる。

【画像】 = 清水担当

- ・ヨーロッパのLR Tの画像
- ・国内のLR Tの画像
- ・P & R、ホームトゥホーム、自転車持ち込み、トランジットモール
- ・福井の合成画像
- ・バリアフリー（ノーステップ）
- ・横川駅・高知駅 = 延伸して便利な様子

【路線図】 = 清水担当

- ・武生新から仁愛大グランドP & R駅まで
- ・福井駅延伸盛り込む
- ・大名町短絡線盛り込む
- ・仁愛大グランドP & R盛り込む
- ・駅新設盛り込む

【Q & A】 = 内田担当

- ・クルマが便利なのにどうして電車が必要なのか
- ・赤字の電車にどうして税金を投入するのか
- ・赤字の電車をどうして運行するのか
- ・自分は電車に乗らないしメリットはないが
- ・電車ではなくバスでもいいのではないか

参加者がいない。「とにかく」ということでこの内容にて打合せした。

以上
(清水)

定例総会のご案内(予告)

日 時：平成17年5月21日(土) 午後

場 所：未 定

記念講演：服部重敬 氏(鉄道ジャーナリスト・写真家。海外のLR Tに造詣が深い)

ヨーロッパ・国内のLR T事情に詳しい服部氏が国内外の事例をわかりやすく、
映像を使って紹介します。

日時:平成17年2月26日(土)午前9時より午後12時まで

参加者:内田、林(ひ)、林(て)、清水、水野、高橋

意見等

- ・マップに盛り込まれている情報について...盲学校の先生にお願いして弱視、色盲の方に見てもらい直す点の意見を求めている最中。
また文字の大きさは地図に盛り込む情報量を考慮すると仕方がないのでは?
- ・カラードクターに色調のチェックを受けるのは必要との認識。
- ・岡山市は第5版で倉敷、児島エリアを追加、国体施設をマップに落としている。
- ・スケール表示(縮尺表示)はバースケール(棒状縮尺)で表現している。
- ・岡山市の場合は地図の「下図」が簡略化しすぎている。「のりのりマップ」は地図情報を基本としているので見やすくしている。
- ・鉄道の色は黒ではなく、色をつけてバスなどと同じようにカラーで表現してはどうか。乗換え情報としているのでやはり「リンク」しているということをカラーの面でも意思表示しておくべきとの意見があり、皆賛成。(岡山市はそのように表示)
- ・2枚組みの評判はどうか...本屋ではすこぶる評判が悪い。その理由は1.滑りやすい、2.立てかけてもらえない等。
- ・広島バスマップは、逆に「のりのりマップ」第1版のハードカバーに貼り付けたアイデアで新版を出している。
- ・第2版をみて、第1版をみると、やはり「字」の大きさは第1版の方がはるかに見やすいとの意見が出た。(あえて較べてみると)
- ・福井県全県マップが100円均一ショップで売っていた。現物もそれほど悪くはない。これで100円かという実感した。(皆)どうやって100円で売れるのか?
- ・第1版のハードカバーに市内版と全県版を貼ってはどうか。(実際に貼ってみて全員で確認。貼る材料は両面テープであることを確認。なかなかいい出来栄え。(費用が嵩むのでROBAが手作りで作ってはどうかとの意見あり。皆同意。)
- ・福井県に依頼して「観光マップ」の情報をもって「ROBA」がそのなかに公共交通情報を入れて出せなのか?一度アタックしていく必要があるとの意見が出た。
- ・群馬県作成のマップは表に「道路マップ」を、裏側は「観光マップ」をつけている例がある。
- ・地図のグリッドは県独自のグリッド(格子状のマス目)を採用している。
- ・世田谷区では災害危険マップと公共交通の表示を一緒に表示して常日頃から、避難路や非難場所を意識つけることを実施している。
- ・バーコードはつけないのか?との疑問には、国土地理院との協議した結果で、販売目的でないので付けないということを了承をもらっているのでできない。(もし必要であれば再協議必要となる)
- ・あきいる街めぐりのマップに観光を組み合わせればいいのかとの意見あり。
- ・廃止するのに説明会を開いているのに、バスルートの選定・変更に住民の意見が入らないのはおかしい。是非ROBAでこの問題を出してみてもどうか。
- ・バスのモデルルートを考えて、地域を選定し、バス会社と協議する機会をROBA

が担ってもいいのではないか？

- ・西福井と新田塚の間に新駅を設置するアイデアはどうか？
- ・中角（えち鉄沿線）にパークアンドライドをしっかりとすることによりもっと鉄道を利用する人が増えることになるのでは？
- ・いろいろなことをROBAニュースで連載して皆に意識啓蒙する必要があるのではないかと意見が出された。
- ・福井鉄道が新型車（800系）が導入することがほぼ決定したことにより、より電車の機能がよくなるのでLRT路線として表示をしていくことがいいのでは？
- ・岡山市の場合、マップの折りかたが偶数ではなく、奇数折りになっていることが今回の部会でわかった。（もし岡山市のマップをお持ちの方は、のりのりマップと比較してみてください。（林（ひ）さんも今日気がついたというシロモノ。）

その他の情報

- ・鯖江市の市民団体が、登録をした 50 店舗のバリアフリー調査を行った。ROBAとしては、そういう団体の方へ松江市で使われている「てくてくマップ」があることを情報として教えてあげてはどうか？
- ・福井では、6月か7月に社会協議会と連携して、全バス停調査を行う予定をしている。（まだ具体的な話はないが）

確認されたこと

- ・第3版は、第1版のハードカバーを使って市内版、全県版を一緒に糊付をして分冊ではなく1冊にしていくことが確認された。
- ・紙面の大きさも第1版の時とおなじくA版でいくことも検討課題とすることが確認された。



次回の部会

平成17年3月9日（水）午後7時より9時まで

けんみん活動センター 交流コーナーで

- ・また地図を広げてワイワイガヤガヤとやりたいと思います。時間取れ方、お待ちしております。

「障害者の自立を考えるフォーラムINふくい」に参加して
水野 俊典

3月18日(日曜日)の福井新聞に、障害者知り自立支援をという見出しの記事があります。僕もそこに出席しました。会場は福井県国際交流会館です。県が初めて開催したそうですが、僕の感覚だと「えっ初めてなの?」と感じました。このフォーラムは12・13日に行なわれたのですが、僕が参加したのは13日のみでした。12日は作家で日本財団会長の曾野綾子氏による「受ける人生、生きる人生」と題した講演やシンポジウムが行なわれたようです。

僕が参加した13日は分科会でした。分科会のテーマは3つありその一つの、「自立を目指した当事者の発展」に参加しました。部屋に入った時には休憩中で、パネラーでもある。去年の「バスマップサミット Inふくい」で視覚障害者補助器具「スピーチオ」展示に協力して下さり大変お世話になった方とまず会い、この場所は意見交換する場だから僕にもROBAでの活動を通して障害者当事者の目線ではなく、一般に公共交通利用当事者について話してと頼まれましたが、あがり症な為に分科会終わるまで心臓バクバクしつつも手は何度か挙げていましたが、見えなかったのか当てられることなく終わり内心ほっとしました。分科会での感想は、障害者の恋愛についてやその場に昨年アテネパラリンピックで活躍をした高田選手を良く知るパネラーの方が、高田選手について学生生活は普通校に通いできない子扱いでしたが、ある時車椅子陸上競技と出逢い凄い努力をして、アテネパラリンピックに参加して活躍したよう

です。人は何かやりたいことが見つければ自分らしさを活かすことができると言っていました。それを聞いて僕は感動しました。

後最も課題になっていたのは、どこに行くにしても車椅子生活者は、公共交通電車やバスを利用するのですが、情報が少なく困っていた様子で、パネラーの方もどう答えたらいいのかこれと言った答えは無く答えを求めていました。ホント僕があがっていなかったら少しは答えていたかと思うと残念です。

僕がなぜ参加をしたかと言うと、ROBAの会員紹介でも書きましたが、少し体が悪く何か僕に必要な情報が得られると思い参加をしたのですが、最近では情報を得るよりかはROBAの活動をしているせいか公共交通の話題は必ずあるので気になりますね。それに僕自身がROBA入会のツッカケではなく、きっかけになったのもですが、車に乗れず電車やバスを利用して将来は今の公共交通の環境を考えると出かけるのが好きなのにもしも車椅子になったらどこにも行けないのではないかと不安になっています。障害者団体の付き合いも多い僕は、ROBAの活動を通してまだまだ活動力が足りないと感じています。

他にも、日頃感じているのですが何にしても情報が少ないと思います。例えば福井県の観光案内や年間行事のチラシやホームページを見ることがありますが、行事やイベントの内容が知っていても交通手段の情報が不足している為に行きたいと思っても行けずにいる人は僕や障害者を問わず誰でも思っている人は多いと思います。福井は車社会で、カーナビさえあればどこにも行けるそうですが、障害者や交通弱者は情報が不足していると思います。最近では上手くバスや鉄道会社、観光協会から情報を聞き出していないのではないかとともに思います。僕がよく使う方

法があるのですが、「友達は車椅子に乗っているのですが に行くにはどうしたらいいですか」と、友達作戦で聞き出す事があります。当然鉄道やバス会社、観光協会は目的地までの行く方法は知っているはずですから教えてくれると思います。言い換えればカーナビのようなものです。友達作戦もありますが、他にも聞き出す方法はあると思います。

他にも、ROBAの「のりのりマップ」や「ばすでんしゃねっと・ふくい」などのホームページがありますが、他県にも様々なマップやホームページがあるので参考に見比べて良い物を福井に取り込んで情報を増やしていきたいですね。長くなりましたが、今回のフォーラムに参加して勉強になりました。

福井県と他県のホームページを見比べてみませんか？

のりのりマップ

<http://f12.aacafe.ne.jp/~norimap/>

ばすでんしゃねっとふくい（福井県）

<http://www3.ocn.ne.jp/~fba/>

ふくいドットコム

パソコン <http://www.fuku-e.com/>

携帯 <http://www.fuku-e.com/c/>

ふくふくマップ

<http://info.pref.fukui.jp/shougai/ffmap/>

松江市バリアフリー情報てくてくマップ

<http://shimane-ud.org/cgi-bin/tekuteku/series/index.html>

「松江市の観光」ホームページ

<http://www.city.matsue.shimane.jp/kankou/index.htm>

伊勢志摩バリアフリーツアースセンター

<http://www.barifuri.com>

視覚障害者補助器具「スピーチオ」ホームページ

<http://www.sp-code.com/>

第29回まちづくり懇談会の報告

日時：3月16日(水) 19:00～21:00

場所：サラダボウル (ガレリア元町)

参加者：ROBA/ 畑、高橋、内田、コラボ NPO/牧野
まちなか NPO/永井、村北、古市、四ツ井

議題：

1、『駐車場の効果的配置と放置自転車対策』に関する福井市長への申入れ内容を再確認した。文書は4月中に福井市の受け入れ状態を確認した上で提出する。

なお、内容の詳細は申入れの後、次回の紙面でご案内いたします。

2、今後の議論の対象について

客待ちタクシーの違法な駐車(不適法な客待ちタクシー)に対する問題。

本件は、福井市だけでなく中心市街地の共通した都市問題のようだ。

シャッターや壁に描かれた落書きについて

これも、全国的な都市問題である。この問題も対策を考えないといけない状況にある。

次回開催日：4月20日(水) 19:00～21:00

サラダボウルにて

『今後の議題について』

作/ 漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「川口さん、副編集長お疲れ様でした」

清水(副編集長)

「ROBAに名古屋支部誕生！川口君よろしく！」

川口(副編集長)

「みなさん、ありがとうございました。4月から名古屋だー！」

内田(発行責任者)

「春は出会いとお別れ。ROBAと別れてNPO・ROBAに逢う。」

醍醐バスツアー延期のお知らせ

春に予定していました、醍醐バスツアーは諸般の事情により延期します。問い合わせたところ、公開シンポジウムを予定しているようで、また、その時にツアーを組みたいと思います。

案内人 林 照翁

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>